



しおや まさき

くらしの相談担当者レポート No38

安心・快適・元気なまちづくり！

発行日：令和 6年10月30日
 発行所：トヨタ自動車労働組合
 発行人：近藤大輔
 編集者：塩谷雅樹
 印刷所：(株)トヨタワイド



Rally Japan 2024
 11/21~24 開催

1. 公約の進捗

大分類	取組テーマ	取組内容（新規or継続or拡大）	進捗状況
安全安心なまちづくり 自助・共助・公助の推進と連携 	防犯・防災対策の充実 幹線道路にも拡大して犯罪抑止していく！	・矢作川鵜の首開削事業と支流拡幅事業促進！（継続） 防犯カメラの設置拡大と注意喚起(新)	40% 30% 
	タイムリーな情報発信 道路や水道の破損状況をラインで通報！	・デジタル技術を活用した議会のデジタル化とオンライン中継(新) ラインを活用した情報発信と情報収集(新)	40% 30% 
	医療・介護の充実	・在宅医療・介護の充実に向けたオンライン診療、介護への支援と介護ロボット導入支援！（継続）	50% 
快適なまちづくり 人と環境にやさしい交通政策 	道路や公共交通機関の整備促進	・南北バイパスの早期開通、竜宮橋4車線化（継続） ・タクシーを活用した地域コミュニティの充実(継続) 地域カーシェアリングの推進(新)	60% 55% 
	次世代交通環境への支援強化	・次世代自動車の利活用拡大!(拡大) ・超小型EVビリティの利用促進!(拡大)	50% 50% 
	交通安全対策の推進	・歩行者保護活動の更なる推進！（継続） ITSスマートボール等のデジタル技術を活用した交差点の交通安全対策の推進(新)	70% 50% 
元気なまちづくり 市民・地域・企業・行政が互いに支え合う環境づくり 	子育て・教育環境の充実 ラリー選手権のインパクトをまちづくりに繋げる！	・休日部活動の支援体制の強化!(継続) ・保育師の確保と、ICTを取り入れた保育の質の向上!(継続) 大規模イベントを生かしたまちづくり!(拡大)	30% 70% 
	地域コミュニティの活性化	・地域団体の活性化!(継続)	50% 50% 
	働き方支援の充実、更なる産業の活性化	・事業者向け!市民向け!のDXの推進、CNの実現に向けた支援の強化！（拡大） ・中小企業及びスタートアップへの支援強化！（継続） ・企業立地に向けた支援と市内産業用地調査の促進！	45% 50% 50% 

「豊田市に暮らして良かった」と思えるような取組を進めて行きます！

* 今期、特に力を入れていきたい項目を赤字で表記しています！



2.職域・地域活動



本社工場 支部



コ-ポレート 支部



生産・TPS 支部

トヨタ労組：60期後期、期初研修（面着&リモート）

職長・評議員研修と各職場会の期初研修にて、ご挨拶と活動の報告をさせていただきました！
変化の大きい年となりますが、共に頑張りましょう!! 1年間よろしくお願いいたします!!



3.くらしの相談 改善事例

■ 雨水マンホール沈下改善！

- ・R153、道路にあるマンホールと道路に段差がありトラックなどの走行音が大きく生活に支障がある

【調査】

市道から国道に移管され車両通行量が増え、道路中央部にある雨水用マンホール蓋の**高さ調整する部分が破損して沈下！**

【改善】

破損部分の材質を**無収縮剤モルタル**に変更して補強し、道路舗装の埋め戻しを実施!! (類似3か所も修繕完了)



ご提案ありがとうございます！

今後も、くらしの改善に努めていきます！



4. 9月議会、主な議案・一般質問

世界ラリー選手権の継続開催を目指します！

■ 世界ラリー選手権 2024年大会 開催推進費

- ・ **補正予算：2億5000万円**
- ・ 今年度開催に向け、歳入確保に協賛パートナーの新規獲得など**約1億の増額と経費削減を評価！**
- ・ **円安と物価高騰の対応には、更なる努力が必要**である!!

賛成意見

2023大会では約126億円の経済効果があり、**豊田市だけでも約80億円の波及効果**がありました！

■ 世界ラリー選手権 2026年～3年間の費用負担

- ・ **債務負担行為：17億2530万円**
- ・ 大会の継続開催の意義は、会場となる「**山村地域の活性化**」や「**産業の発展**」、「**交通安全の推進**」などであり、豊田市のまちづくりに大いに貢献する事業である！

賛成意見



■ 一般質問（放課後児童クラブ）

「放課後児童健全育成事業の充実に向けた取組」

質問 豊田市には70の放課後児童クラブがある！（今年からすべて民営に移管）
現在、受入れの対象は、小学校1年生から4年生までだが
5・6年生の受入れ要望も多い!! **令和7年度の取組は？**

答弁

子ども達の多様な居場所づくり！

10月中旬頃にHP、広報や、学校こども園メールで周知します！

- **来年度から5・6年生を含む全学年を対象として受入れる！**

意見

- * 児童の安全と安心を第一に考えた事業運営を！
- * 支援員・補助員の負担軽減に向けた支援の拡充！
- * **5・6年生受入れに向けて事業者・学校と十分な準備を要望！**

